

わが国、 国土のすがた

日本列島は南北2000km、東西2000kmに及ぶ細長い形状（幅は最大で250km程度）で、

道路網建設 苦勞乗り越え

「国土は国家とて国民といふ人の資産の存在に依りて成り、国家としては認識されねば、条約で領有権が凍結された南極大陸を除けば、地球上どの国の領土でもない地域はほぼ存在しない。この国土やその境界線である国境を巡って、歴史的に紛争が絶えないことは周知の事実である。」

維持していくのは、他の国よりずっと苦勞が多く、お金もかかってしまう。だからといって、もう道路には手をかけなくてもいいという訳にはいかない。人口が減少していく時代には、地域ごとに何もかもフルセットで用意できず、そのため地域と地域はますます補完関係を強めていかなければならないからだ。

この悠久の歴史、悠久の大自然を持つわが「国土」について、われわれ日本人はどのような認識を持ち得ているか、持とうと努力してきたか。先人達によって絶え間なく続けられてきた国土への働きかけ、その結晶としての豊かな国土を、われわれは歴史の最先端に立つ責任ある者として、次の世代のために改善し、遺していく責務を果たしているだろうか。

今号から数回、わが国の国土の特徴を紹介する。

① 細長い国土と脊梁山脈

最近、遠隔医療の技術が発達してきた。光ファイバーで精細な画像をやり取りすることで、遠い地にいる患者の状態を診断する必要になることを意味する。多くの人を助ける可能性のある技術だが、最終的に治療に接する医師と患者が直接向き合わなくてはならない。医療と患者が直接向き合わなくてはならない。医療と患者が直接向き合わなくてはならない。医療と患者が直接向き合わなくてはならない。

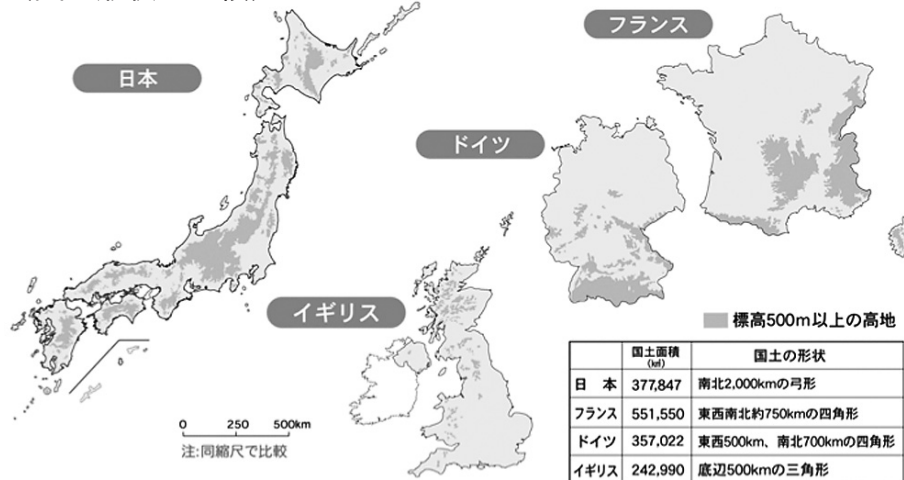
橋・トンネルを多用 地域間交流・連携に必須

国土の細長い日本は、大変な苦勞をたくさんしなければならぬ。円く幅は狭いが、急な流れの河川が無数に流れている。これらにぶつかるフランスなら、首都のパリから全方位に道を開き、山間地では、くねくねと迂回しながら先へ進むより方法は無い。従って、道路延長はどうしても長くなる。

山間地は迂回、道路総延長長く

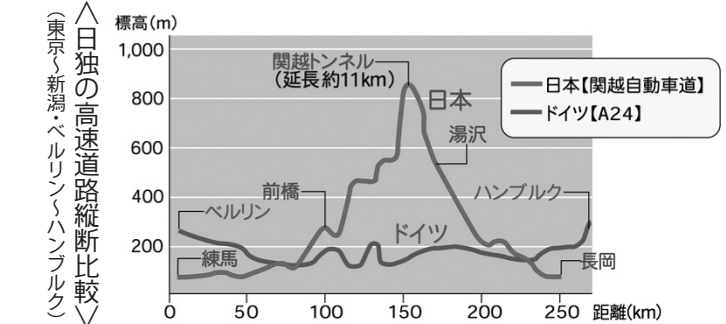
国土の細長い日本は、大変な苦勞をたくさんしなければならぬ。円く幅は狭いが、急な流れの河川が無数に流れている。これらにぶつかるフランスなら、首都のパリから全方位に道を開き、山間地では、くねくねと迂回しながら先へ進むより方法は無い。従って、道路延長はどうしても長くなる。

国土形状の比較



	国土面積 (km ²)	国土の形状
日本	377,847	南北2,000kmの弓形
フランス	551,550	東西南北約750kmの四角形
ドイツ	357,022	東西500km、南北700kmの四角形
イギリス	242,990	底辺500kmの三角形

- ① 国土形状 南北2,000km、東西2,000kmに及ぶ細長い国土（幅は最大で250km程度）
- ② 四島 海峡により陸地が分断。多数の島嶼部で構成
- ③ 脊梁山脈 細長い国土を2000m級の山脈が縦貫し、日本海側と太平洋側に二分河川は急勾配で短く、流域面積も小さい（国土は109の一級水系と2722の二級水系が作る分水嶺で細かく分割）
- ④ 平野 河口部が山間盆地にしか平野が無く、狭い平野が分散している上に、国土面積に対する比率が小さい（低地：13%、台地：12%）
全ての大都市は河川の氾濫区域に存在
- ⑤ 軟弱地盤 大都市区域のほとんどが軟弱地盤の上にある
- ⑥ 地震 国土面積が世界の地表面積の0.25%しかないのに、マグニチュード4以上の地震の約10%が日本で発生（マグニチュード6以上では全世界の20%）
- ⑦ 豪雨 多雨：地球総平均(800^{mm}/年)の2倍以上の年間降雨(1,400~1,600^{mm}/年)があるが梅雨末期と台風期に集中（⇒脆弱な水資源、大きな災害リスク）
- ⑧ 強風 台風の通り道に沿うかたちで列島が展開
- ⑨ 豪雪 国土面積の60%が積雪寒冷地域（年間累計降雪深4m超の豪雪地帯に大都市が存在）



日本は、大変な苦勞をたくさんしなければならぬ。円く幅は狭いが、急な流れの河川が無数に流れている。これらにぶつかるフランスなら、首都のパリから全方位に道を開き、山間地では、くねくねと迂回しながら先へ進むより方法は無い。従って、道路延長はどうしても長くなる。

キリン

ハンドルキーパー運動に一役

キリンビール株式会社は、ノンアルコールビール「キリンフリー」の発売などで飲酒運転根絶に力を入れている。09年9月には「ハンドルキーパー運動」への支援を宣言。春の全国交通安全運動（4月6日～15日）に合わせ、「キリンフリー」ハンドルキーパーびん（小びん、中びんの2種）を3月下旬までの期間限定で発売した。今後も、商品を通じ社会貢献の一翼を担う。

飲酒運転根絶！

ハンドルキーパー運動とは、仲間（グループ）と飲食店などに自動車で行く際に、ハンドルキーパー（酒を飲まない運転者）を決め、その人の運転で仲間を自宅に送り飲酒運転事故を防止する運動で、全日本交通安全協会が実施。同協会と日本フードサービス協会、日本自動車連盟（JAF）は、飲酒運転根絶に向けて運動を推進している。